

令和2年度 教員地域貢献活動支援事業（協働） 成果報告書

1 研究課題名

「まち保育」の観点から取り組む保育・教育施設の共助構築に向けた検討・実践

2 実施教員

代表教員氏名・所属・職位	国際教養学部 准教授 三輪 律江
事業ユニットの構成	

3 課題提案者

組織名	横浜市神奈川区役所
-----	-----------

※課題提案者以外の連携機関(組織名) 該当がある場合のみ記載

組織名	
-----	--

4 課題

幼児期の子どもたちが家族と離れ過ごす保育・教育施設が、非常時の対策に取り組むためには、日常的な地域との関係づくりが不可欠である。日常業務に追われる中、施設自らが無理のない範囲で地域との関係を構築していくための意識啓発、地域とともに園児・保護者を巻き込んでいける体制づくりや手法論を検討、実践する。

5 課題の解決方法

神奈川区では、2018年度「保育・教育施設防災対策検討会」を立ち上げ、保育・教育施設が自助・共助の視点で防災対策に取り組むための方策を検討し、「保育・教育施設向け+αの防災ガイド」などの策定を図ってきた。しかし、そもそもの保育・教育施設と地域（自治会・町内会・企業など）との関係性が十分に構築されておらず、結果的に地域と連携した防災対策が行われていないということが課題の一つとして明らかになってきた。

6 研究実績報告（実施したスケジュールと内容・成果）

2019年度に引き続き、2020年度も「まち保育を通じた保育・教育施設の地域連携の在り方勉強会」と「共助力強化ワークショップ」の開催と、区内の施設への定期的な伴走支援を並走して行った。またコロナ禍の状況において、オンラインや動画教材作成などの手法も工夫して実施した。

- ① 神奈川区下の保育園の園長会の日時に合わせ、『「まち保育」の理解と防災力強化 連続講座～保育・教育施設の地域連携の在り方を考える～』の研修会を実施した。年2回開催。対面とオンラインの両会で実施した。

<第4回>2020年10月15日（木）〈午前の回〉10:00～11:30、〈午後の回〉14:00～15:30

「顔の見える関係づくり」に役立つ！まち歩きの手法」

地域を知り、地域との共助力を高めるために、普段のお散歩などでも活用できるまち歩きの手法

を、実際に神奈川県役所周辺を実際に歩きながら学んだ。また時間短縮のため、研修を受講するにあたっての事前動画『顔の見える関係づくり』に役立つ！まち歩きの手法を学ぼう - 基礎理解編 -』を収録し、予習を促す工夫をした。午前・午後

<第5回>2021年2月19日（金）15:00~16:30

地域と連携した防災対策を実践している、横浜市認可ピッピ保育園（青葉区）および連携している地域の方をゲストに、これまでどのような連携を進めてきて、どのような効果が得られたかなど、講師とのディスカッション形式で紹介し、気づきを促した。

（企画・当日のオンライン運営は三輪および横浜市大、現地会場確保や各施設への広報等は神奈川県役所が担当）。

- ② 区内の施設への定期的な伴走支援として、以下2園および1エリアに対し不定期に会合（2ヶ月に1回）を通して、取り組みの実践サポートを行った。

【白幡幼稚園】通園ルートや小学校入学後の通学路の危険性等の把握のため、小学校の協力も得てマップを成、まち歩きワークショップ等を企画・実施。8月6日の打合せ時に、2019年度末から延期している子どもたちによるまち歩きを実施したい旨の確認後、その後のフォローを続けてきたが、現在も園の業務の都合上、保留状態。

【いずみ反町保育園】2019年度にお散歩マップの見直しと散歩ルートの多重化作業、地元防災拠点の会合への参加を経て、災害時に支援・連携してもらえる人や周辺施設との関係構築のための地域交流まち歩きワークショップ等を企画したが、緊急事態宣言に伴い年度末実施に至らなかった。2020年度は、それらを再度検討し、保育スタッフ、保育園児親子、近隣親子、近隣住民、地域防災関係者、区役所防災担当と共に、ワークショップを実施した。

2020年8月7日 事前打ち合わせ

2020年9月11日 事前打ち合わせ

2020年10月15日 事前打ち合わせ

2020年11月21日 まち歩きワークショップ



【幸ヶ谷小防災拠点エリア】上記2施設での個別伴走支援に加え、2020年度は津波や高潮対策にかかる施設と地域の連携モデルを増やすため、幸ヶ谷小学校地域防災拠点の区割り内にある15施設に対しての面的な伴走支援を開始した。まずは横のつながりの強化として“顔の見える関係づくり”として職員様同士の顔合わせとヒアリングをzoomにて開催した。

2021年2月19日 事前打ち合わせ

2021年2月24日 6施設との顔合わせおよびヒアリング

2021年2月26日 6施設との顔合わせおよびヒアリング

- ③ ②のいずみ反町保育園でのまち歩きワークショップの様子も含めた『共助力向上のために…まちあるきをしておさんぽマップをつくってみよう“地図作りで発見！まちたんけんキット”の活用』の動画を作成し、(株)ゼンリン「まちたんけんキット」と共に120園に配布し、各施設の実情に合わせて活用してもらった。



- ④ 各施設での防災や地域との繋がりに関して、現在できていること、あまりできていないことなどを、それぞれの施設で定期的に自己点検し次のステップの見える化と状況を俯瞰する「自己点検シート」を作成し、配布・回収を経て、これまでの研修の意識変化の動向調査と分析を行った。

7 得られた効果及び自己評価

- ・実施内容④から、これまでの全体研修を経て、各園ではお散歩マップの見直し、地元の防災組織の会合への参加、防災訓練などへの参加等、小さなアクションが実施されていたことが改めて確認できた。
- ・また具体的な方法と成功体験から進むべき方向性の提示はできた。
- ・講座と伴走の様子は地元ケーブルテレビ（YOU TV）に継続的に取り上げられた。

8 今後の課題と展開

- ・まだ共助力向上に向けた意識向上や小さなアクションができていない園へのサポート
- ・小さなアクションの継続実施と、地域組織との関係の深化、保護者などの巻き込み
- ・同じ種類の災害リスクを共有する（すなわち別法人でも近隣に立地し合う）園の横のつながりの強化と日常性の創出

9 研究発表

- ・こども環境学会大会長野大会（2021年7月佐久市）でポスター発表予定